

事業所における自己評価結果(公表)

※児童発達支援

公表： 令和5年 5月 10日

事業所名 タクト

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	個別療育なので、適切なスペースを確保し、構造化のためシチュエーションに合わせて使い分けています。	
	2	職員の配置数は適切である	75%	25%	一対一で実施しています。	デイとの兼務職員が多いため、職員の負担を改善していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	TEACCHプログラムに基づいて構造化をしています。スケジュールを視覚的に示したり、活動に合わせて机の配置を変えるなどの環境設定をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	毎日掃除をして清潔にしています。活動に合わせて活動場所を変えるなど空間の工夫をしています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	月1回の会議と定期的カンファレンスを実施しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	毎年実施しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	75%	0%	ホームページに公開しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	25%	75%	外部評価ではないですが、外部からのアドバイザーに来ていただいたり、外部の大学教授にアドバイスを求める機会を設けるようにしています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	職員研修を実施しています。毎月1回梅花女子大学の伊丹先生の学習会に参加しています。外部の研修に参加する機会を設けています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	PEP検査の実施、保護者のニーズの聞き取り、お子さまの様子の客観的な観察を通して、必要な支援を考えて計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	PEP検査の実施、ヴァインランドを基にしたアセスメントを実施しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	ガイドラインに基づいた項目を選択して支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	児童発達支援計画に沿った支援を実施しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	25%	75%	個別療育であるため、担当者がプログラムを考えています。しかし、必要に応じて他の職員と話し合いをしたり助言を受けたりしています。	個別療育ですが、カンファレンスでチームでのプログラムの検討も、お子さまに合わせた療育の実施のために必要であると思われるため、今後実施していきます。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	75%	0%	個々の特性や状況などに合わせて変えています。特性によっては固定が必要な場合もあり、また反対に常に変えた方がいい場合もあるため、柔軟にプログラムを考えています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	0%	100%	個別療育のため集団活動は実施していません。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	75%	25%	必要に応じて記録の職員と打ち合わせをすることはあります。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	75%	25%	必要に応じて、記録の職員や他の職員と振り返りを行なうことがあります。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎回記録を取り、保護者へのフィードバックを行なっています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年に一度モニタリングを実施しています。	
関係機関や保	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	75%	0%	サービス担当者会議が開催される時には担当者が参加します。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	75%	25%	必要に応じてこども園や子育て支援センターと連携を取っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	75%		現在、医療的ケアの必要なお子さまは利用していません。今度利用があれば連携していきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	75%		現在、医療的ケアの必要なお子さまは利用していません。今度利用があれば連携していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	25%	75%	必要に応じて、他の機関と話をしたり、保護者を通じて情報を伝えたりしています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	25%	75%	必要に応じて、他の機関と話をしたり、保護者を通じて情報を伝えたりしています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	他の機関と連携をしたり、研修を受けたりしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		実施をしていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	75%	25%	毎回参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	保護者同伴のため、療育時に保護者と話をしています。また、連絡帳や電話などでやりとりをしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	75%	25%	保護者向けの勉強会を実施しています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	利用開始時に説明をしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	児童発達支援計画の内容を説明をし、同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	療育中や電話などで相談を受け、必要な助言と支援を実施しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	75%	25%	今年度は集まっての保護者会の開催はできませんでしたが、個別の研修に変更しました。	ニーズに応じて、保護者会を開催していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	個別のため、柔軟に対応することができています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	75%	25%	法人の会報を発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	鍵のかかる場所で保管しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	特性に合わせて、言葉だけでなく、文字、絵、カードなどの視覚的なツールを使用して工夫をしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		法人の祭りを開催していますが、近年はコロナの影響で開催できていません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	50%	50%	マニュアルの策定はできています。	保護者に周知をしたり、定期的な訓練は実施できていないため、今後実施をしていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	50%	50%		訓練の回数を増やしていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	利用時に確認をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50%	50%		確認はしていますが、食事の提供はしていません。必要に応じて対応していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	作成をして職員間で共有しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	研修に参加しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	50%	50%	必要な場合に話し合って計画に記載し、保護者の同意を得ています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。